

DATABASE MANAGER
ユーザーマニュアル
バージョン2026

本マニュアルの情報は法的拘束力がなく、事前の予告なしに修正される可能性があります。

本マニュアルに記載されるソフトウェアの提供は、ユーザー・ライセンスにより異なります。

このソフトウェアは、このライセンスに従って行われる場合を除き、いかなる媒体においても、使用、複写または複製することはできません。

本マニュアルのいかなる部分も、TEKLYNX Corporation sas から書面での許可を受けずに、購入者の個人的な使用以外の目的で、いかなる手段においても、複写、複製または送信することはできません。

©2026 TEKLYNX Corporation SAS,
All rights reserved.

目次

データベースファイルへの接続 1-1

データベース接続ウィンドウ 1-1
データベースマネージャーモジュールをデータベースに接続する 1-1
データベース接続パラメーターを変更する 1-6
接続を削除する 1-6

データベースのファイル構造 2-7

データベース構造ウィンドウ 2-7
接続リストからデータベースを選択する 2-8
データベースのテーブルを選択する 2-8
現在のデータベースにテーブルを追加する 2-8
現在のデータベースからテーブルを削除する 2-9
現在のテーブルのデータを表示 / 非表示する 2-10
キーフィールドを定義する 2-10
フィールドタイプを定義する 2-10
フィールドの最大サイズを定義する 2-11
空フィールドを許可する 2-11

データベースの内容 3-13

データベース修正ウィンドウ 3-13
内容によりレコードを選択する[1] 3-14
フィールドの内容を使用して、レコードを検索 3-14
一致するレコードをすべて選択 3-14
一致するレコードを選択 3-15
テーブルの行によりレコードを検索する 3-16
新しいレコードを作成する 3-16
レコードをコピーする 3-16
レコードを修正する 3-17
一連のレコードを英数字順にソートする 3-18
レコードを削除する 3-18

1.

データベースクエリー 4-19

データベースクエリーウィンドウ 4-19
クエリーを追加する 4-19
１つまたは複数のフィールドを選択 / 選択解除する 4-20
選択したフィールドの順序を変更する 4-20
事前に定義されたデータを使用してフィルターを作成する 4-21
論理演算子を複数のフィルターに適用する 4-24
フィルターのリストをソートする 4-24
フィルターを削除する 4-25
SQL でフィルターを修正する 4-25
データベースの既存クエリーを選択する 4-26

印刷 5-27

印刷ウィンドウ 5-27
オプションを表示する 5-28
ドキュメントをレビュー表示する 5-28
ラベルデザインソフトウェアを表示する 5-28
印刷するドキュメントを選択する 5-28
　印刷用の新しいラベルを作成 5-28
　既存のラベルを選択 5-29
プリンターを選択する 5-29
選択されたプリンターを設定する 5-29
印刷するレコードを選択する 5-30
　レコードを手動で選択 5-30
　レコードを自動で選択 5-31
印刷メディアの設定 5-31
選択されたプリンターのプロパティを表示する 5-32
フィールドにより印刷ページ数を定義する 5-32
印刷の開始 5-33
　毎回手動で印刷を開始 5-33
データベースに関する変数を更新 5-33
　ドキュメントに関連するデータベースを統合 5-33
　データベースの編集を許可 5-34
印刷の停止 5-34
データベース表示を更新 5-34
ドキュメントを閉じる 5-34

第 1 章

データベースファイルへの接続

データベース接続ウィンドウ



データベース接続ウィンドウを使用すると、利用するさまざまなデータベースファイルに、ソフトウェアを接続することができます。

データベースマネージャーモジュールをデータベースに接続する

データベースマネージャーを、データベース接続ウィンドウで開きます。

既存のデータベースまたは新規に作成したデータベースをデータベースマネージャーに接続することができます。

データベースマネージャーに接続する新しいデータベースを作成:

1「ファイル > 新しいデータベースを作成」を選択します。

2 サブメニューで dBase または Access データベースを選択します。

名前をつけて保存ダイアログボックスが表示されるので、データベースファイルの名前と場所を入力し、保存ボタンをクリックします。

新しいデータベース接続は、データベース接続ウィンドウに表示されます。

データベースマネージャーに既存のデータベースを接続:

1 「ファイル > 開く」を選択します。

ファイル選択ダイアログボックスが開き、希望するデータベースをブラウズしたり、選択したりすることができます。

このダイアログボックスは、以下のデータベースの種類に制限されます。

```
Access (*.mdb)
Excel (*.xls)
Dbase(*.dbf)
```

注 意

ソフトウェアをもっともよく使用するデータベースに接続する場合に、便利なウィザードをご利用いただけます。ご利用のデータベース形式に適したフォーマットをお選びください。希望するフォーマットがない場合は、以下の操作を行います。

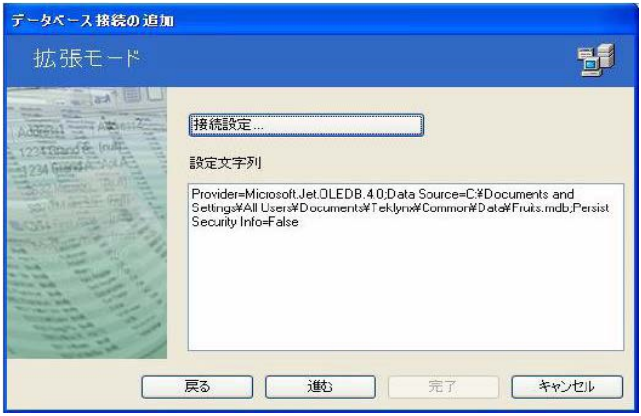
1 追加ボタンをクリックします。

2 リストからデータベースタイプを選択します。

- または -
その他を選択します。

3 進むボタンをクリックします。

4 接続設定ボタンをクリックします。



5 ダイアログボックスのプロバイダタブをクリックします。

6 目的のプロバイダーを選択します。



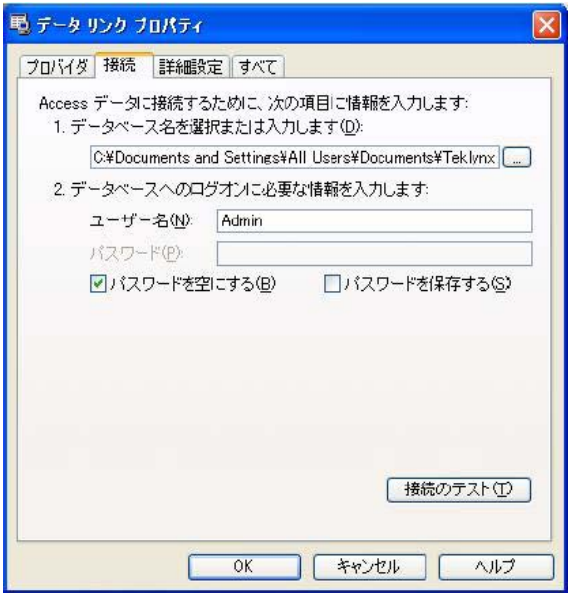
7 次へ >> ボタンをクリックします。

注 意
プロバイダーの選択は、システムのデータベースの種類によって異なります。

8 '...' 検索ボタンをクリックします。

9 ファイルを選択します。

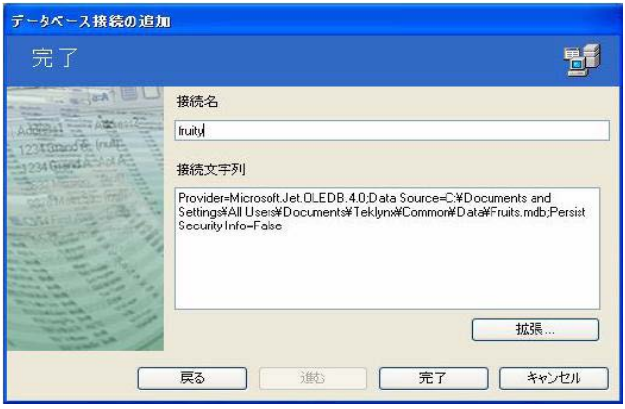
10 開くボタンをクリックします。



11 OK ボタンをクリックします。

12 進むボタンをクリックします。

13 接続に関する名前を入力します。



14 完了ボタンをクリックします。

注意
必要な接続数の分だけ、この手順を繰り返し行うことができます。

データベース接続パラメーターを変更する

データベースマネージャーを、データベース接続ウィンドウで開きます。対象の接続を選択してください。

1 編集ボタンをクリックします。

2 必要な変更を行います。

接続を削除する

データベースマネージャーを、データベース接続ウィンドウで開きます。対象の接続を選択してください。



1 削除ボタンをクリックします。

第 2 章

データベースのファイル構造

データベース構造ウィンドウ



データベース構造ウィンドウを使用すると、テーブル / フィールドの追加、変更または削除など、データベースのファイル構造を管理することができます。

接続リストからデータベースを選択する

データベースマネージャーを、データベース構造ウィンドウで開きます。

1 データベースのドロップダウンリストをクリックします。

2 目的のデータベースをクリックします。



データベースのテーブルを選択する

データベースマネージャーを、データベース構造ウィンドウで開きます。

1 テーブルのドロップダウンリストをクリックします。

2 目的のテーブルをクリックします。



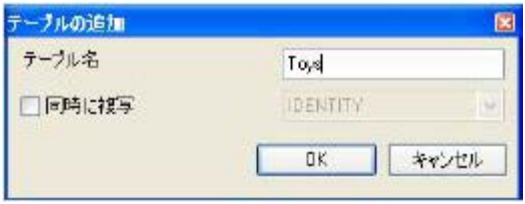
現在のデータベースにテーブルを追加する

データベースマネージャーを、データベース構造ウィンドウで開きます。

1 テーブルの追加ボタンをクリックします。

2 新しいテーブルの名前を入力します。

3 OK ボタンをクリックします。



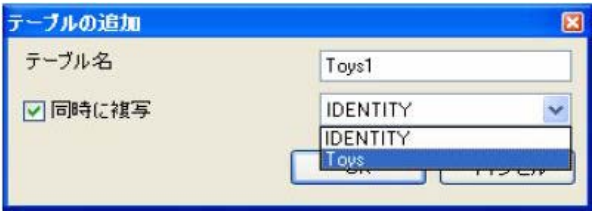
選択されたデータベースにすでに存在するテーブルから、テーブルの構造をコピーすることもできます。この操作方法は以下の通りです。

1 同時に複写の隣にあるボックスにチェックをつけます。

2 ドロップダウンリストをクリックします。

3 目的のテーブルをクリックします。

4 OK ボタンをクリックします。

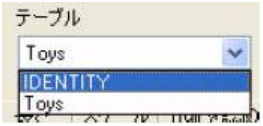


現在のデータベースからテーブルを削除する

データベースマネージャーを、データベース構造ウィンドウで開きます。

1 テーブルのドロップダウンリストをクリックします。

2 目的のテーブルをクリックします。



3 テーブルの削除ボタンをクリックします。

現在のテーブルのデータを表示 / 非表示する

データベースマネージャーを、データベース構造ウィンドウで開きます。

1 データ表示ボタンをクリックします。

キーフィールドを定義する

データベースマネージャーを、データベース構造ウィンドウで開きます。

1 目的のフィールドの隣にあるボックスをチェックします。（画面赤丸）



2 適用ボタンをクリックします。

フィールドタイプを定義する

データベースマネージャーを、データベース構造ウィンドウで開きます。

1 目的のフィールドのタイプの列をクリックします。

2 ドロップダウンリストのボタンをクリックします。

3 希望するデータタイプをクリックします。



4 適用ボタンをクリックします。

フィールドの最大サイズを定義する

データベースマネージャーを、データベース構造ウィンドウで開きます。

1 目的のフィールドの長さの列をクリックします。

2 希望する値を入力します。



3 適用ボタンをクリックします。

空フィールドを許可する

データベースマネージャーを、データベース構造ウィンドウで開きます。

1 目的のフィールドの null を認める ボックスにチェックをつけます。（画面赤枠）



2 適用ボタンをクリックします。

第 3 章

データベースの内容

データベース修正ウィンドウ



データベース修正ウィンドウを使用すると、データの追加、変更または削除など、データベースファイルの内容を管理することができます。

これらのアクションは、データベースのタイプによって異なります。このため、Excel ファイルのレコードは修正できません。

内容によりレコードを選択する

フィールドの内容を使用して、レコードを検索

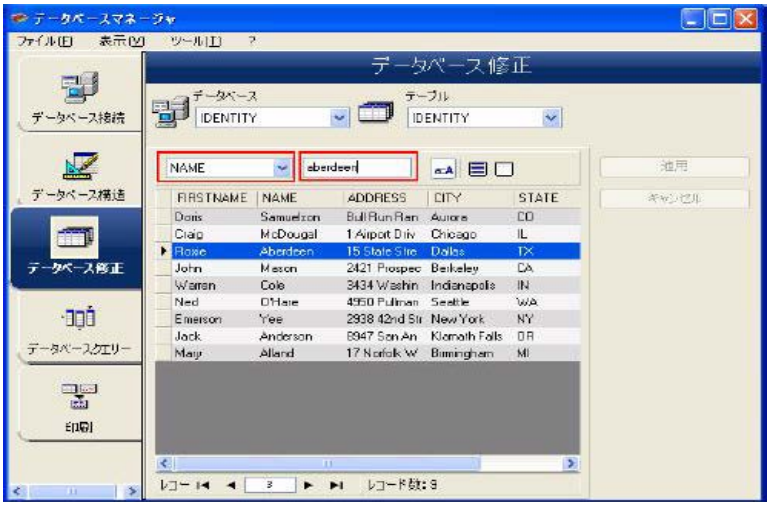
データベースマネージャーを、データベース修正ウィンドウで開きます。

1 検索フィールドの選択ドロップダウンリストのボタンをクリックします。（画面赤枠（左）

2 目的のフィールドをクリックします。

3 データ入力フィールドをクリックします。（画面赤枠（右））

4 データ入力フィールドに検索する値を入力します。



一致するレコードをすべて選択

データベースマネージャーを、データベース修正ウィンドウで開きます。1 つ以上のレコードが表示されていなければなりません。

1 検索フィールドの選択ドロップダウンリストのボタンをクリックします。（画面赤枠（左））

2 目的のフィールドをクリックします。

3 データ入力フィールドをクリックします。（画面赤枠

（中））

4 データ入力フィールドに検索する値を入力します。

5 全てを選択ボタンをクリックします。（画面赤枠（右））



注 意
「大文字と小文字を区別」ボタンをクリックし、フィルターを指定することもできます。



一致するレコードを選択

データベースマネージャーを、データベース修正ウィンドウで開きます。1 つ以上のレコードが表示されていなければなりません。また、検索フィールドにいくつかの一致する内容があります。

レコードを選択するには、検索ツールを使用します。1（先頭レコード）、2（前レコード）、3（次レコード）または 4（最終レコード）をクリックします。



テーブルの行によりレコードを検索する

データベースマネージャーを、データベース修正ウィンドウで開きます。

1 検索ツールのデータ入力欄をクリックします。（画面赤枠）

2 目的のレコード番号を入力します。



新しいレコードを作成する

データベースマネージャーを、データベース修正ウィンドウで開きます。

1 アステリスク（*）が付いた行のフィールドをクリックします。

2 対応するフィールドに必要な値を入力します。

3 適用ボタンをクリックします。



レコードをコピーする

データベースマネージャーを、データベース修正ウィンドウで開きます。

1 1行または一連の行をクリックし、選択されたレコードをハイライト表示します。

2 右クリックし、コンテキストメニューを表示します。

3 Duplicate selected record(s) を選択します。



レコードを修正する

データベースマネージャーを、データベース修正ウィンドウで開きます。

1 修正したいデータをクリックします。

2 必要なデータを入力します。

3 適用ボタンをクリックします。

一連のレコードを英数字順にソートする

データベースマネージャーを、データベース修正ウィンドウで開きます。テーブルに 2 つ以上のレコードが存在しなければなりません。

1 目的のフィールドの名前をクリックします。

LOTNUM
1001
1002
1009
1007
1005
1011
1023
1004
1024
1002
999
1025
1026

LOTNUM
999
1001
1002
1002
1004
1005
1007
1009
1011
1023
1024
1025
1026

LOTNUM
1030
1026
1025
1024
1023
1011
1009
1007
1005
1004
1002
1002
1001

注 意
降順にレコードをソートするには、同じフィールドを再度クリックします。

レコードを削除する

データベースマネージャーを、データベース修正ウィンドウで開きます。

1 目的のレコードのデータベースのカーソルをクリックします。

2 右クリックします。

3 コンテキストメニューで、選択レコードの削除をクリックします。

第 4 章

データベースクエリー

データベースクエリーウィンドウ



データベースクエリーウィンドウを使用すると、さまざまなフィルターを作成し、適用することができます。

クエリーを追加する

データベースマネージャーを、データベースクエリーウィンドウのフィールドタブで開きます。

1 クエリーの追加ボタンをクリックします。

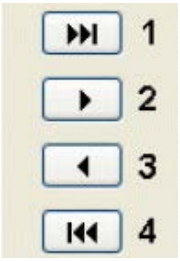
2 クエリーの名前を入力します。

3 OK ボタンをクリックします。

1 つまたは複数のフィールドを選択 / 選択解除する

データベースマネージャーを、データベースクエリーウィンドウのフィールドタブで開きます。

1 つまたは複数のフィールドを選択または選択解除するには、ナビゲーションツールにある 1, 2, 3 または 4 の各ボタンをクリックします。



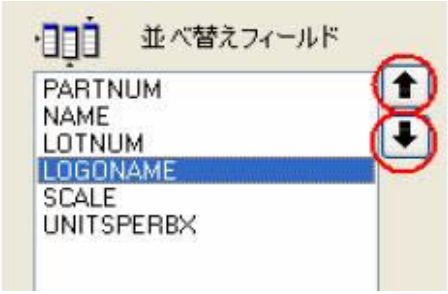
1 クエリーボタンをクリックします。

選択したフィールドの順序を変更する

データベースマネージャーを、データベースクエリーウィンドウのフィールドタブで開きます。

1 並べ替えフィールドリストで目的のフィールドをクリックします。

2 上下の矢印ボタンをクリックして、フィールド順を調整します。



3 クエリーボタンをクリックします。

注 意
クエリーアプリケーションの表示を見やすくするために、フィールド、フィルター、SQL クエリーの各タブの高さを変更することによって、データ表示エリアを拡大することができます。

事前に定義されたデータを使用してフィルターを作成する

データベースマネージャーを、データベースクエリーウィンドウのフィルタータブで開きます。

1 レコードの追加ボタンをクリックします。（画面赤丸）



2 フィールド欄をクリックします。

3 ドロップダウンリストのボタンをクリックします。

4 希望するフィールドをクリックします。



5 演算子欄をクリックします。

6 ドロップダウンリストのボタンをクリックします。

7 希望する演算子をクリックします。

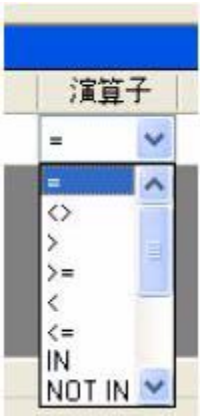


表 1：演算子機能の説明

演算子	意味
=	等しい
<>	異なる
>	～より大きい
>=	～以上
<	～より小さい
<=	～以下
NOT	論理否定
IN	抽出条件をリストで指定
LIKE	あいまいな条件指定
NOT LIKE	
BETWEEN	値の範囲指定
NOT BETWEEN	
IS NULL	フィールド内容が NULL
IS NOT NULL	

8 値 欄をクリックします。

9 条件となる値を入力します。



10 クエリーボタンをクリックします。

論理演算子を複数のフィルターに適用する

データベースマネージャーを、データベースクエリーウィンドウのフィルタータブで開きます。複数のフィルターが必要です。

1 論理式 欄をクリックします。

2 ドロップダウンリストのボタンをクリックします。

3 And または Or を選択します。



4 クエリーボタンをクリックして、変更を適用し表示します。

フィルターのリストをソートする

データベースマネージャーを、データベースクエリーウィンドウのフィルタータブで開きます。複数のフィルターが必要です。

1 対象のフィルターのデータベースのカーソルをクリックします。

2 上下の矢印ボタンをクリックし、順番を調整します。（画面赤丸）


フィールド
フィルター
SQL クエリー
フィルター選択
Conditions table
論理式
フィールド
演算子
値
NAME
=
Trailor
Or
LOTNUM
<
15000
And
NAME
=
Luxury

フィルターを削除する

データベースマネージャーを、データベースクエリーウィンドウのフィルタータブで開きます。1 つ以上のフィルターが必要です。

1 目的のフィルターのデータベースのカーソルをクリックします。（画面赤丸（左））

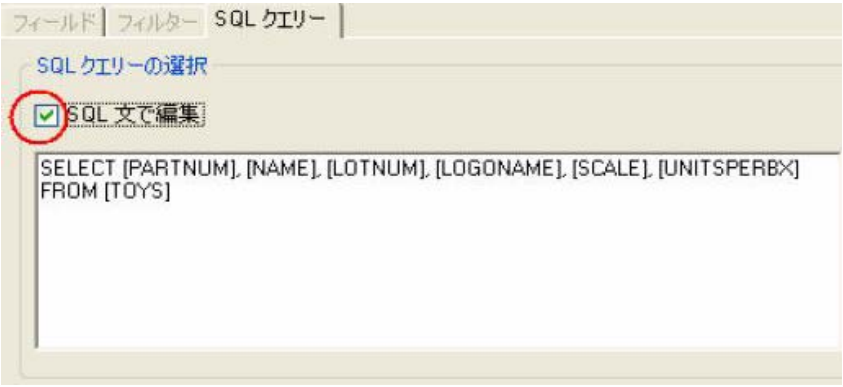
2 レコードの削除ボタンをクリックします。（画面赤丸（右））



SQL でフィルターを修正する

データベースマネージャーを、データベースクエリーウィンドウの SQL クエリータブで開きます。1 つ以上のフィルターが必要です。

1 SQL 文で編集の隣にあるボックスにチェックをつけ、SQL クエリーを有効にして、手動で変更を行います。



2 クエリーボタンをクリックします。

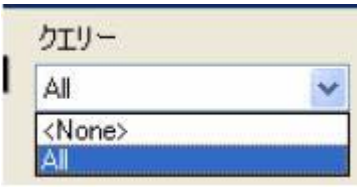
注 意
フィルタータブを最初に使用しないで、SQL で直接フィルターを作成することができます。

データベースの既存クエリーを選択する

データベースマネージャーを、データベースクエリーウィンドウで開きます。

1 クエリーのドロップダウンリストをクリックします。

2 目的のクエリーを選択します。



注 意
選択したクエリーは後で、変更することができます。

第 5 章

印刷

印刷ウィンドウ



印刷ウィンドウを使用すると、印刷を開始する前に、印刷するファイルの選択、プリンターの指定、さまざまなパラメーターの定義を行うことができます。

オプションを表示する

データベースマネージャーを、印刷ウィンドウで開きます。

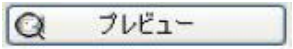
1 オプションボタンをクリックします。



ドキュメントをレビュー表示する

データベースマネージャーを、印刷ウィンドウで開きます。

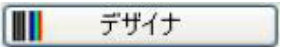
1 プレビューボタンをクリックします。



ラベルデザインソフトウェアを表示する

データベースマネージャーを、印刷ウィンドウで開きます。

1 デザイナボタンをクリックします。

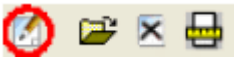


印刷するドキュメントを選択する

印刷用の新しいラベルを作成

データベースマネージャーを、印刷ウィンドウで開きます。

1 ラベル作成アシスタントボタンをクリックします。



2 ウィザードの説明にしたがって、進めます。

注意
データベースに関連するラベルを作成すると、データベースの各フィールドの配置に必要な要素を正確に定義することができます。

既存のラベルを選択

データベースマネージャーを、印刷ウィンドウで開きます。

1 既存のラベルドキュメントを開くボタンをクリックします。



2 .lab ファイルを選択します。

3 OK ボタンをクリックします。

注意
オプションの「ラベル名」や「プリンター名」グループにある「フィールド」ラジオボタンを使用すると、現在のデータベースのフィールドのひとつにそれらの文字が定義されている場合に、必要なラベル、プリンターが選択されます。

プリンターを選択する

データベースマネージャーを、印刷ウィンドウで開きます。ラベルが選択されている必要があります。

1 プリンターの追加と削除ボタンをクリックします。



2 目的のプリンターを選択します。

3 OK ボタンをクリックします。

注意
最後に使用したプリンターがデフォルトで選択されます。

選択されたプリンターを設定する

データベースマネージャーを、印刷ウィンドウで開きます。ラベルとプリンターを選択してください。

1 プリンター設定ボタンをクリックします。



2 必要な設定を調整します。

3 OK ボタンをクリックします。

選択されたプリンターを設定する

選択されたプリンターを設定する

データベースマネージャーを、印刷ウィンドウで開きます。ラベルとプリンターを選択してください。

1 プリンター設定ボタンをクリックします。



2 必要な設定を調整します。

3 OK ボタンをクリックします。

印刷するレコードを選択する

レコードを手動で選択

データベースマネージャーを、印刷ウィンドウで開きます。

1 印刷するレコードの隣にあるボックスにチェックをつけます。



注 意

ウィンドウ上部の境界線をドラッグして、データ表示グリッドの高さを変更することができます。

レコードを自動で選択

データベースマネージャーを、印刷ウィンドウで開きます。

1 検索フィールドの選択ドロップダウンリストのボタンをクリックします。

2 目的のフィールドを選択します。

3 データ入力フィールドをクリックします。

4 検索するデータを入力します。

5 全てを選択ボタンをクリックします。

印刷メディアを設定する

データベースマネージャーを、印刷ウィンドウで開きます。ドキュメントを選択してください。

1 ページ設定ボタンをクリックします。



選択されたプリンターのプロパティを表示する

データベースマネージャーを、印刷ウィンドウで開きます。

1 ページ設定ボタンをクリックします。



2 設定ボタンをクリックします。.



フィールドにより印刷ページ数を定義する

データベースマネージャーを印刷ウィンドウで開き、プリンターを選択します。印刷するレコードも選択します。

1 数量の列のドロップダウンリストをクリックします。

2 必要なデータを選択します。

3 選択されたデータのドロップダウンリストのボタンをクリックします。

4 必要な値を選択するか、整数値を入力します。

注 意
このオプションを選択すると、特定のフィールドに定義された数値にしたがって、選択されたラベルを印刷することができます。さまざまな基準を設定できます。

- SERIALQTY：一連のラベルの印刷回数を定義します。
- LABELCPY：選択されたラベルの印刷回数を定義します。
- PAGECPY: ラベルのページの印刷回数を定義します。

印刷を開始する

データベースマネージャーを、印刷ウィンドウで開きます。ラベル?テンプレートとプリンターを選択します。印刷するレコードも選択します。

1 レコードを印刷ボタンをクリックします。



毎回手動で印刷を開始

データベースマネージャーを、印刷ウィンドウで開きます。ラベルとプリンターを選択します。 印刷するレコードも選択します。

1 レコード毎に印刷ダイアログを表示の隣にあるボックスにチェックをつけます。

2 Print records ボタンをクリックします。

データベースに関する変数を更新する

データベースマネージャーを、印刷ウィンドウで開きます。ラベルとプリンターを選択します。印刷するレコードも選択します。

1 変数値を更新するの隣にあるボックスにチェックをつけます。

2 Print records ボタンをクリックします。

ドキュメントに関連するデータベースを統合

データベースマネージャーを、印刷ウィンドウで開きます。ラベルとプリンターを選択します。印刷するレコードも選択します。

1 データをマージするの隣にあるボックスにチェックをつけます。

2 Print records ボタンをクリックします。

データベースの編集を許可

データベースマネージャーを、印刷ウィンドウで開きます。ラベルとプリンターを選択します。印刷するレコードも選択します。

1 データベースの修正を許可の隣にあるボックスをチェックします。

2 Print records ボタンをクリックします。

印刷を停止する

データベースマネージャーを、印刷ウィンドウで開きます。ラベルとプリンターを選択します。印刷するレコードも選択します。印刷がすでに開始しています。

1 Cancel Print ボタンをクリックします。 。



データベース表示を更新する

データベースマネージャーを、印刷ウィンドウで開きます。ラベルとプリンターを選択します。1 つ以上のレコードも選択します。

1 Refresh database ボタンをクリックします。



ドキュメントを閉じる

データベースマネージャーを、印刷ウィンドウで開きます。ラベルを選択します。

1 現在のラベルドキュメントを閉じるボタンをクリックします。





France
+33 (0) 562 601 080

Germany
+49 (0) 2103 2526 0

Singapore
+65 6908 0960

United States
+1 (414) 837 4800

Copyright 2026 TEKLYNX Corporation SAS. All rights reserved. LABEL MATRIX, LABELVIEW, CODESOFT, LABEL ARCHIVE, SENTINEL, PRINT MODULE, BACKTRACK, TEKLYNX CENTRAL, TEKLYNX, and Barcode Better are trademarks or registered trademarks of TEKLYNX Corporation SAS or its affiliated companies. All other brands and product names are trademarks and/or copyrights of their respective owners.

www.teklynx.com